

The Democratic Party of Japan

民主
PRESS MINSHU

山木綾子の議会ウォッチング

No82

やまきあやこ

2013年4月15日
号外 川越版

民主党プレス民主編集部
〒350-8601
川越市元町1-3-1
川越市役所 6F
民主党議員団内

事務所 350-1137

川越市砂新田4-4-6 サングリーン高階 504

TEL・FAX 049-249-3306

e-mail a-yamaki.11-26@nifty.com

U R L <http://www.yamaki-ayako.com>

自宅 350-1137

川越市砂新田5-27-9

TEL・FAX 049-242-3543



川越市議会議員

山木綾子の代表質疑

紙面の都合で教育委員長への質疑1問のみの掲載

3月議会は予算議会です。従来予算に絡めて行っていた市長の『市政運営の基本的な考え方と主要政策』と合わせて、従来は常任委員会の冒頭で行われていた教育委員長の『教育行政の基本方針と重点施策』を本会議で予算とは別に会派の代表質疑で行うことになった。

民主党議員団を代表して『市政運営の基本的な考え方と主要政策』について8項目、『教育行政の基本方針と重点施策』について11項目の質疑を行った。

山木綾子 質疑

学校・家庭・地域との連携とあるが、教育委員会の考える学校・家庭・地域の教育をそれぞれどのように考えるのか？

教育委員長 答弁

教育委員会の考える学校・家庭・地域の教育については教育基本法に明記されている通り、学校・家庭・地域のそれぞれが、役割と責任を自覚するとともに相互の連携及び協力に努めることであるとする。

学校は、家庭で育てられた芽をさらに育て、一人一人の花を咲かせる場所であり、子どもの発達段階に応じて、知・徳・体の調和のとれた教育を行う場所である。

また、家庭は、親子の絆の形成を通して愛情を育み、基本的な生活習慣を身に着させる場所であり、すべての教育の出発点であるとする。

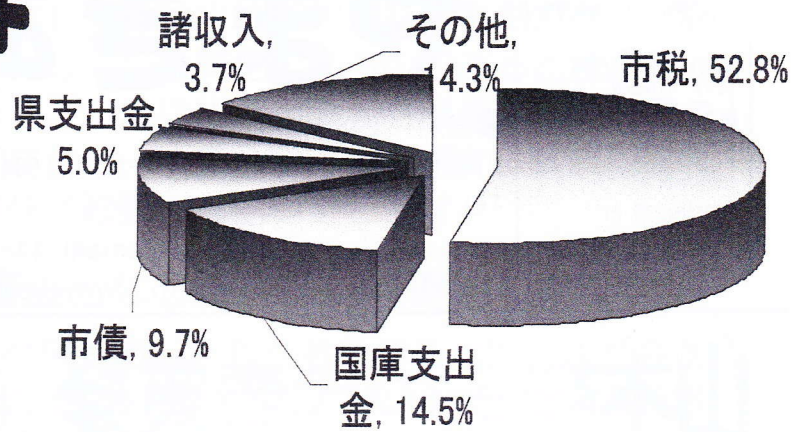
さらに、地域は、地域で子どもを育てるという視点から、子どもたちの育ちを見守り社会のルールを身に着けさせる場であるとする。

このことを踏まえ、本市に於いては、子どもサポート委員会の取り組みを通じた体験活動の充実、また、学校評議員会議やいじめ対策委員会を通して学校教育の改善に努めるなど、地域や家庭の協力を得ながら地域ぐるみの教育の推進をし、学校・家庭・地域の連携に努めていく。



平成 25 年度 一般会計予算

歳入予算の構成割合



平成 25 年度の一般会計予算は、昨年当初予算比で 1.6% 増の 1.021 億 9 千万円を超える予算編成となった。

しかしながら、歳入予算に市税が占める割合は 52.8%、と大幅な増は期待できず、市債については 6.8% 増の 98 億 8 千万円を計上し、財政調整基金から 14 億 5 千万円を計上して

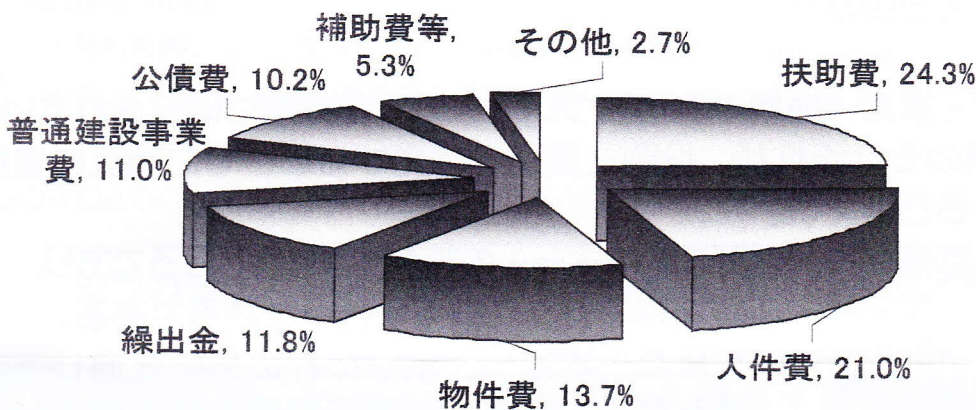
いる。また、地方交付税は前年度比、マイナス 13.9% の 21 億 1 千万円を見込み、特別交付税 3 億 1 千万円を見込んだ。国庫支出金は昨年当初予算比で 3.1% の 148 億 1 千万強を計上した。

一般会計の構成割合を見ると、扶助費 24.3% 人件費 21.0% 公債費 10.2% と、義務的経費がその割合を大きく縮めている。そのほかにも市民生活に直結した経費や特別会計への繰り出し金、公共施設の管理維持に必要な経費等々、財政は危機的状況にあると

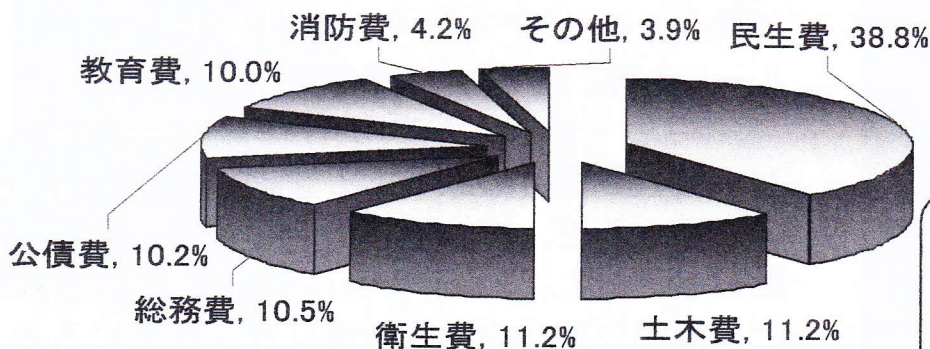
いわざるを得ない。

全体として弾力を欠いた予算であると認識している。しかしながら、昨年引き続き、新河岸駅・川越駅西口等の都市基盤整備を進めるなど、積極的な予算を組んだこと。教育の分野で、オールマイティチャーターの配置や、ネット上のいじめから子どもたちを守る学校非公式サイトの検索や監視に予算を割いたことは大いに評価をしたい。

歳出予算の性質別構成割合



歳出予算の目的別割合



25 年度総予算規模

一般会計	102,190,000 千円
特別会計	81,373,902 千円
総額	183,563,902 千円

3月議会が終わった。

議案 29 件、人事案件 9 件、意見書 1 件を可決し、包括外部監査の報告も受けた。可決には及ばなかったが、副議長倉嶋美恵子議員への不信任の動議が出され、

残念なことに公契約条例は、**またも継続審査となった。**

副議長に対する不信任の動議

副議長倉嶋美恵子議員は、議会内において、副議長としての公平性が欠如した言動があり、副議長としての資質を欠くものであると考える。よって、ここに川越市議会会議規則第 16 条の規定により、所定の賛成者を得て、倉嶋副議長不信任の動議を提出いたします。

またしても継続審査となった公契約条例

またしても『公契約条例』が継続審査となった。そもそもこの条例は、我が会派の片野広隆議員が議運で提案し全会派の議運の賛同を得て 12 月本会議に議員提案として上程したものだ。議場で継続審査の動議がかかり、今議会まで継続審査となった。この間議会では公契約条例について、検討する委員会を立ち上げ、先進地も視察し、働く仲間や業界団体の代表も一緒に学習会も行って来た。

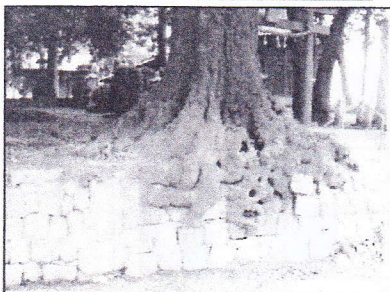
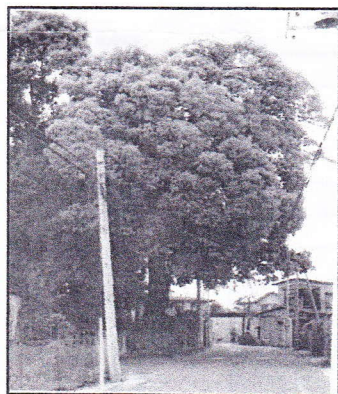
多くのご意見も頂き、当初 25 年 4 月から施行の予定を 27 年まで伸ばし、その間運用にあつたての規則などは、労使双方の代表や有識者を交えて「より良いものに」と譲歩もした。だが、今議会においても採決に至らなかった。

3月29日国土交通省から、各都道府県知事、各政令指定都市市長と建設業団体の長あてに通達が来た。いずれ執行部側もこの通達によってアクションを起こすだろう。公契約条例に反対している、会派や議員たちはその時はどうするのだろうか。議運で賛成して、本会議で動議をかけるなどと言ったことが許されること自体私には不可解だ！

公契約条例：公共工事の受注者は労働者に地方自治体が指定した賃金を確保させることを規定している。
指定される賃金 は国の最低賃金法に基づいて規定される最低賃金よりも高く設定されている。

△◇○▽□△◇○▽□△◇○▽□△◇○▽□△◇○▽□△◇○▽□△◇○▽□△◇○▽□△◇○▽□△◇○▽□

シラカシ



文化財指定 高階地区 砂氷川神社

氷川神社の東端にあるシラカシは、幹回り 3.88m、樹高 18.6m、根回り 12.3m ~ 16.08m と推定される。根元部分は、神社の石垣を抱き込むような、形態をなしており、根の成長に伴って、石垣は膨張している。樹齢は植栽されてから 270 年ほど。

境内の南西端にあるイヌツゲは、樹高 5m 根回り 9.12m ~ 11.22m と推定さる。根元から 3 本株立ちしている幹回りは 104cm・85cm・104cm と推定される。枝振り は、外周 25.28m で、樹齢はおよそ 270 年程度と推定される。

イヌツゲ



散歩の途中に足を延ばしてみたいかがですか・・・。